

HSAプラン - 2020年度における限度額の改定について

2019年11月6日、IRS(米国国税庁)は、インフレ率を考慮した2020年度におけるHSA(Health Saving Accounts。高自己負担型医療保険プラン)限度額の改定値を発表した。米国医療保険改革法(オバマケア)においては、当該限度額を超えるプランを構築してはならないと規定している。

【2020年度 HSAプラン限度額一覧】

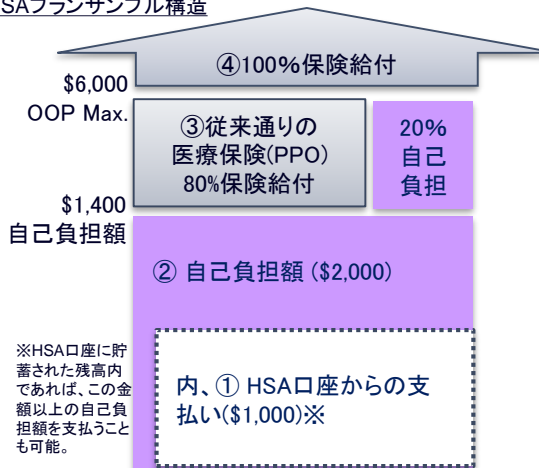
	2019年度		2020年度	
	従業員のみ	従業員とその家族	従業員のみ	従業員とその家族
個人最高拠出額(年) (Annual Contribution Limit)	\$3,500	\$7,000	\$3,550(+\$50)	\$7,100(+\$100)
医療保険プランにおける 最低個人負担額 (HDHP Minimum Annual Deductible)	\$1,350	\$2,700	\$1,400(+\$50)	\$2,800(+\$100)
自己負担上限額 (Maximum Out-of-Pocket Limit)	\$6,750	\$13,500	\$6,900(+\$100)	\$13,800(+\$300)
キャッチアップ拠出額 (Catch-Up Contribution)	\$1,000		\$1,000	

【用語解説】

- 1) 個人最高給付額: HSAプラン利用に付随する非課税貯蓄口座への年間最高拠出額。当該拠出額は、従業員の税引き前給からの天引、企業側からの給付額、またはその両方で構成される。年度末時点の残高は全て翌年に繰越可能。
- 2) 医療保険プランにおける最低個人負担額: HSAプランは、すべて高額な自己負担上限額(High Deductible)の医療保険プランで構成される。当該自己負担上限額の最低値はインフレ率を考慮して改定される。
- 3) 自己負担上限額: 2)の高額自己負担上限額のこと。
- 4) キャッチアップ給付額: 1)の年間拠出額に加え、55歳以上の従業員が任意で上乗せできる拠出額。

【そもそもHSAプランとは何か?】

HSAプランサンプル構造



HSA (Health Savings Accounts) 企業拠出 and/or 従業員による拠出

《ポイント》

- 1) 個人に帰属した非課税貯蓄口座(HSA)を設定。当該口座に企業拠出 and/or 従業員が当該口座に毎月拠出。
- 2) 従来のプランより高い自己負担額②を設定する見返りとして、保険料③(従業員の保険料負担額を含む)を軽減。
- 3) 保険をあまり利用しない生活を送れば、自己負担総額(②+③)の保険料 and ③の自己負担医療費が従来型保険より減少。
- 4) PPOと異なり、家族加入の際は家族"全員"の自己負担額(Deductible)を満たさなければ、保険プランからの給付は行なわれない。
- 5) ウェルネスプラン等と組み合わせることにより、更にコスト削減効果を発揮。

出典: "H&B November 11th, 2019" issued by Willis Towers Watson

【注】本情報は主題内容に関する一般的な情報を提供することを目的としており、法律上、会計上、及び税務上のアドバイスをもとにしたものではありません。法律上、税務上、及び会計上の義務・条件に関する事項につきましては専門家にご相談下さい。